

NFAサッカーリーグU-13 2023 開催要項

1. 趣 旨 (一社)奈良県サッカー協会は、次代を担う U-13 年代の公式戦機会を確保し、技術向上と健全な心身の育成を図ること及び第3種登録チームの交流を目的として、本大会を実施する。
2. 名 称 NFA サッカーリーグU-13
3. 主 催 (一社)奈良県サッカー協会
4. 主 管 (一社)奈良県サッカー協会 第3種委員会
5. 後 援 奈良県
6. 協 賛 (株)ミカサ
7. 期 日 リーグ戦は、2023年10月から2024年1月31日(日)までの期間を予定
※入替戦は、次年度に新チームで行う。
※関西ヤマトタケルリーグ参入戦は、2024年2月11日(日)にOFA万博Aで開催予定。
8. 会 場 奈良県内各会場
9. 大会形式
 - ① NFA サッカーリーグU-13【プレミア】《2回戦総当たり》
 - 優勝チームは、ヤマトタケル(関西)リーグ昇格決定戦への出場権を得る。
 - 原則8チームでの実施とする。(昨年度の順位を参考)
 - ② NFA サッカーリーグU-13【チャレンジ】《2回戦制⇒前期1回戦/後期1回戦》
参加チーム数が多い場合は、複数ブロックに分けて開催する。
その場合は、抽選でブロック分けを実施。
 - 入替戦への出場資格は、上位リーグ2位までとする。(4位以下を繰り上げない)
 - 合同チームの参加を認める。(プレミアへ昇格することはできない)
 - 複数編成チームの参加を認める。

※チャレンジリーグの大会形式は、現時点の案であり、申し込みチーム数や社会情勢等を総合的に判断し、9月9日(土)監督会議時に最終決定した競技方法を提示する。

10. 参加資格

2022年度(財)日本サッカー協会に第3種登録したチームであり、次の条件を満たしていること。

- (1)2010年(平成22年)4月2日以降の出生者を対象とする。
- (2)(公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、第4種年代、女子の選手の出場が可能である。その場合は、必ずクラブ申請(回答)の写しを提示すること。
大会エントリー時に必要な3種年代の選手は最低8名で、最小選手数は11名とする。
4種年代、女子の1試合の同時出場は最大3名とする。
- (3)選手数(協会登録)が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合のみ認めることとする。
 - ① 合同するチームは、3チームまでとする。
 - ② 合同するチーム及びその選手は、それぞれ(1)(2)を満たしていること。
 - ③ 極端な勝利至上主義を目的とする合同でないこと。
 - ④ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチームの代表者が協議の上、代表チームが行う。
 - ⑤ 合同チームとしての参加を第3種委員長が別途了承すること。

※プレミアへ出場することはできない。

- (4) 同一チームによる複数編成チームの出場を認める。
 但し、各チームそれぞれに指導者がいることを条件とする。
※複数編成チームが同時にプレミアに出場することはできない。
※チャレンジに複数チームが出場する場合で、上位下部リーグ制になった場合は、上位リーグには1チームしか出場できない。
 ※ヤマトタケルリーグ（関西リーグ）に出場しているチームの複数チームの出場を認める。
 但し、ヤマトタケルリーグのプロテクト選手は出場できない。
 プロテクト選手の規定については、プレミアも同規定で行う。
 プロテクト選手名簿については、期日までに提出する。
- (5) 選手は、当該チームに登録を済ませていること。
- (6) 共通理解事項として、以下の条件を確認しておく。
 登録完了日とは、(社)奈良県サッカー協会事務局の承認日であること。
チームとして、有資格審判員の帯同が可能であること。(最低1名*ユース審判可)

11. 競技方法

- (1) リーグ戦における順位決定方法は勝ち=3点/引き分け=1点/負け=0点の勝ち点により多い順に決定する。尚、同一の場合は、以下の項目に従い決定する。
- (プレミア)
- ① 当該チーム同士の対戦成績
 - ② 全試合のゴールディファレンス(得失差)
 - ③ 全試合の総得点
- (チャレンジ)
- ① 全試合のゴールディファレンス(得失差)
 - ② 全試合の総得点
 - ③ 当該チーム同士の対戦成績
- ※ ①～③の項目において同一の場合は、当該チーム同士が、同一ピッチ上に残っている場合は、ペナルティーキック方式により決定する。同一ピッチ上にいない場合は、抽選により決定する。
- (2) 諸事情(不測の事故及び人数不足(7人未満))による1試合のみの棄権については、その試合のスコアは0-5とする。
- (3) リーグ戦途中から、それ以降の試合をすべて棄権するチームが出た場合も同様にスコアは0-5とするが、これによりゴールディファレンス等で順位に影響を及ぼす場合は棄権チームとのスコアはすべて削除する。
- (4) 試合時間 60分(30分-5分-30分)とする。
- (5) ピッチサイズは、**プレミアリーグ・チャレンジリーグともにフルピッチ(105m×65m)**で行う。

12. 競技規則

- (1) 最新の(公財)日本サッカー協会、「サッカー競技規則」による。
- (2) 選手交代は14名までとし、一度退いた選手も再び出場できる「再交代」は実施しない。
 後半の交代回数は3回までとする。
 (「ハーフタイム」「飲水タイム」「クーリングブレイク」「中止→再試合」時の交代は回数に含まない)
 選手交代用紙は使用しない。
- (3) 退場処分を受けた者、または警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。退場処分選手(未消化)は、順位決定戦、プレミア入替戦及び次期大会に持ち越す。警告の累積については、1回の場合は次期大会及び順位決定戦、プレミア入替戦に持ち越さない。それ以外に、処遇を規律委員会(上地信親委員長)にて審議、決定する場合がある。
- (4) 日没、雷等により試合続行が不可能と判断された場合は、サスペンデットゲームとし、後日試合を中断する前の状態から再開する。したがって、両チームの出場メンバーは原則として変更することが出来ない。ただし、中断前の試合で出場していた選手が続行試合当日にけがや疾病などを理由に出場できない場合など、不可抗力による選手交代は交代メンバーの中で認められる。尚、雷等の場合、中断時間は60分を目安とする。その判断は、主審が会場責任者と協議の上、決定する。

13. 審判員

- (1) 主審・副審は必ず有資格者であること。
- (2) 副審のみユース審判可。審判服を必ず着用すること。
- (3) 審判証を提示できるようにしておくこと。

体力面、審判機会創出の為、ユース審判は前半後半の交代を可能とする。

(注意)

-交代のある場合は、後半交代する審判も試合前、審判の打合せに参加する事

14. 選手の追加・移籍等

- (1) リーグ期間中に追加選手エントリーをする場合は、3種委員長に連絡し奈良県サッカー協会の証明を提出、選手登録番号が確定した時点でエントリー用紙に手書きで追加すること。
- (2) リーグ期間中に移籍した場合は、3種委員長に連絡し奈良県サッカー協会の証明を提出、移籍完了日より2節の出場を禁止する。但し、一家転住等の理由により移籍した選手が大会参加を希望する場合は、3種委員長の別途了承のもと、大会への参加が認められる。

15. その他

- (1) チーム代表者は必ず第1試合の開始30分前（各会場にて変更可）に本部に集合し、運営にあたること。
但し、競技場の準備等（補助員等）については、別に会場担当及び大会本部より連絡をすることがある
- (2) 選手のエントリーは、所定の用紙を使用し行うこと。チームの初戦打ち合わせ時に、本部へ2部提出しチェックを受ける。（1部は本部預かり）以後、チェックを受けたエントリー用紙の複写を各試合のエントリーメンバー票とする。また各試合30分前までにエントリーメンバー票の先発メンバーに〔○〕印を打ち、本部に2部提出すること。※チャレンジに複数チームで出場する場合は、抽選会時にエントリーメンバー票を提出する。
- (3) ユニフォーム規定は以下の通り。
 - ① 選手はすべて同一の服装であること。
 - ② ゴールキーパーの服装は他の選手と区別できる服装であること。
 - ③ ユニフォームは色違いのものを2着用すること。同系統色が重なった場合、コイントスの上、一方のチームにユニフォームの変更を求める。
 - ④ ユニフォームの広告表示については、日本協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合にのみこれを認める。ただし、日本中学校体育連盟加盟チームは、連盟規定によりこれを認めない。
ユニフォームに広告表示する場合は、JFA発行のユニフォーム広告表示（回答）の写しを提示すること。
 - ⑤ シャツの前面・背面に登録した番号を付けること。ショーツの番号は、付けることが望ましい。

【プレミア】

- ① 本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びショーツ)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ② 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ③ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ④ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれに、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

【チャレンジ】

- ① 本競技会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)
- ② ユニフォームデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)
- ③ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- ④ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。

- ⑤ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - ⑥ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- (4) 大会参加チーム(選手・応援者等)は、会場施設の美化(喫煙等を含む)と使用マナー(車両の乗り入れ・駐車等)に配慮すること。応援は各会場より指定された場所で行うこと。マナー(判定・プレーに対する暴言等)にもチーム代表者として十分注意を払うこと。以上の点について、大会関係者から指摘があった場合、規律委員会に諮りその処遇を決定する。以降の県協会主催の大会への出場を認めない場合もある。
- (5) 試合球はJFA公認5号球新球(ミカサ製品)を使用する。
- (6) 各チームの登録選手は、JFA発行の選手証を持参すること。
ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFAのWEBシステム「KICK OFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- (7) 大会期間中の負傷及び疾病については、各チームで対応し、主催者はその責を負わない。各チームの責任において、参加者全員がスポーツ安全保険に加入していること。

16. 表彰

《チーム表彰》

➤ NFA サッカーリーグ U13【プレミア】

優勝、準優勝、第3位チームに表彰状を授与し、優勝チームには優勝杯(持ち回り)、準優勝チーム・第3位チームにはトロフィーを授与する。尚、優勝チームにはレプリカ(トロフィー)を授与する。

また、フェアプレー賞を設ける。フェアプレーポイントが同じ場合は、順位が上のチームを表彰する。

➤ NFA サッカーリーグ U13【チャレンジ】

優勝、準優勝、第3位チームに表彰状を授与し、トロフィーを授与する。

《個人表彰》

最多得点者 1名 トロフィーを授与する(プレミア1名)

優秀選手賞 2名 トロフィーを授与する(プレミア・チャレンジ優勝チームより各1名)